



「THE ROTARIAN」は、イリノイ州エバンストンにある世界本部から出されており、ポール・ハリスが書いた「合理的ロータリー主義」を掲載するためにチェスリー・ペリーRI事務総長によって1911年1月に発行されたのが始まりです。

日本の地域雑誌「ロータリーの友」は、1953年1月号が創刊号です。1952年7月、国内1地区だった地区が2地区に分かれることになり、2つの地区で情報が共有できるように雑誌の発刊が提案され「友」が生まれました。そして、1980年7月号から「ロータリーの友」が公式地域雑誌として承認されたのです。RIの定める公式地域雑誌の認定条件の主な要件として、50%以上がロータリーの関連記事であること、RIの指定する記事の掲載や、RIに依存することなく財政的に強固な基盤をもって運営されなければならない。また記事による名誉棄損の訴えなどに備えるために、保険付保をしなければならないのです。このようなRIの定める公式地域雑誌としての認定条件を、今後クリアしていくには、「ロータリーの友事務所」が任意団体のままでは難しくなってくる

ということもあり、今年度から「一般社団法人ロータリーの友事務所」として法人化を果たしました。(2010年3月25日設立登記完了)

ロータリアンには三大義務があります。会費の納入、例会出席、そしてロータリー雑誌 (Rotary Magazine) の購読です。では、なぜロータリアンは、ロータリーの雑誌を読まなければいけないのでしょうか。幅広い奉仕をするために、自分の所属するクラブばかりでなく、自分のクラブのある地区ばかりでなく、そして、自分の国ばかりでなく、世界中のクラブの活動やロータリアンのことを知ることができるのです。ロータリーの雑誌を通して、幅広く情報を入手し、それを実際の活動に生かしてください。「ロータリーの友」は、より身近で、より親しまれる「友誌」を目指しております。ロータリーの友をリビングに置いて、ご家族の方に読んでいただければ、家族がロータリーを理解するきっかけに、会社に置けば従業員の方々がロータリーを知るきっかけになることと思います。もちろん、ロータリアン自身の活動のため、役立てていただけるのではないのでしょうか。